

# 第63回日本透析医学会 in神戸

去る6月29日～7月1日の3日間の日程で神戸国際会議場・近辺施設にて第63回日本透析学会学術総会が開催され延べ49名で参加させて頂きました。

今回は当院透析センターより代表3名が「通院困難になった透析患者のエンドステージ・オブ・ライフ～終の棲家より学んだこと～」、「透析患者におけるIVC経と△BV測定によるDW評価の有用性について」、「当院におけるVAの現況～40年間トラブルのない患者から学ぶ～」について発表し、透析患者さんの自立心がもたらすQOL向上への影響・シャント・DW評価の現状を多くの方に知っていただく良い機会となりました。今年で17年連続となります当院の発表と、透析に関する他院の発表を聴講し、新たな知識を習得することができました。今後の業務に活かしていきたいと思えます。

